

教職員の皆様へ

仕事と育児・介護の両立支援制度が改正されました(平成29年1月1日より)

仕事と育児の両立支援制度について

▶ 有期雇用教職員の育児休業の取得要件緩和

- ① 継続勤務期間が1年以上
- ② 子が1歳6ヵ月に達する日までに、その労働契約(更新された場合は、更新後のもの)が満了することが明らかでないこと

▶ 育児休業等の対象となる子の範囲の拡張

特別養子縁組の監護期間中の子、養子縁組里親に委託されている子といった法律上の親子関係に準じると言えるような関係にある子について新たに対象とする

仕事と介護の両立支援制度について

▶ 介護休業の分割取得

対象家族1人につき、通算186日(非常勤職員は93日)まで、3回を上限として分割取得可能

▶ 介護休業等の対象家族の範囲の拡大

同居・扶養していない祖父母、兄弟姉妹及び孫も追加

▶ 介護のための所定労働時間の短縮措置等(選択的措置義務)

所定労働時間の短縮措置(短時間勤務)について、介護休業とは別に、取得開始から3年間取得可能

▶ 介護のための所定外労働の免除(新設)

介護終了までの期間について請求することができる(業務の正常な運営を妨げる場合等を除く)

「妊娠・出産、育児休業等に関するハラスメント」を新たなハラスメントとして定義

大阪大学の定義するハラスメントに「妊娠・出産、育児休業等に関するハラスメント」が追加されました

各種施策・制度の詳細については、下記にお問い合わせください

男女協働推進センターが実施する各種施策に関すること
大阪大学男女協働推進センター
TEL: 06-6879-4405 E-mail: gecenter-gea@ml.office.osaka-u.ac.jp

育児・介護休業、出産手当金・育児休業給付金等に関すること
所属部局の担当係

ハラスメントに関する相談
大阪大学ハラスメント相談室
【豊中】06-6850-5029(セクハラ) 06-6850-6006(ババハラ・アカハラ)
【吹田】06-6879-7169(全般) 【箕面】072-730-5112(全般)
大阪大学HP http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/prevention_sh

各種制度についての詳細をまとめた冊子「次世代育成支援に関する手引き」は

男女協働推進センターホームページよりダウンロードできます

HP: <http://www.danjo.osaka-u.ac.jp/guide/>

阪大 男女 次世代育成 検索

大阪大学男女協働推進センター 子育て・介護等両立支援ガイドブック
デザイン・編集:企画部男女協働推進・社会学連携課 男女協働支援係 | 発行:大阪大学男女協働推進センター
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1 TEL:06-6879-4405 FAX:06-6879-4406 HP: <http://www.danjo.osaka-u.ac.jp>

平成29年3月発行

guidebook



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

子育て・介護等両立支援 ガイドブック



男女協働推進センター
Center for Gender Equality Promotion



妊娠・出産、育児支援：保育関連

学内保育園

教職員 学生

平成20年4月から、学内保育園（事業所内託児施設）として、吹田キャンパスで『たけのこ保育園』と『まきば保育園』を、平成24年10月から豊中キャンパスで『まちなね保育園』を運営しています。国立大学では最大規模の定員数を誇っています。



たけのこ保育園(吹田) まきば保育園(吹田) まちなね保育園(豊中)

男女協働推進センターホームページ
<http://www.danjo.osaka-u.ac.jp>
より検索してください

阪大 男女 学内保育園

検索



大阪大学保育園
キャラクター「すくたん」

病児・病後児保育室

教職員

病児・病後児保育室は、本学の教職員が病気の子どもを家庭で保育することが困難な場合に、医学部附属病院小児科医師と連携し、看護師・保育士が常駐する環境においてお預かりします。

<保育室の概要>

- 所在地：吹田キャンパス内
- 保育日：月曜日～金曜日(祝日及び年末年始を除く)
- 保育時間：8:00-18:00
- 対象年齢：生後6ヵ月から小学校就学前まで
- 利用対象者：
本学常勤教職員・非常勤職員(日本学術振興会特別研究員(PD, RPD)を含む)の病中・病後の子ども



病児・病後児保育室
「あおぞら」(吹田)

学童保育

教職員 学生

「子どもと一緒に阪大へ行こう！」
平成29年3月から、一時預かり保育室を利用して、長期休業期間中(夏休み、冬休み、春休み)に教職員・学生の子ども(小学生)を保育する学童保育の実施を予定しています。



学童保育試行時の様子
(H28.3.29・箕面)

一時預かり保育室

教職員 学生

保育園ではカバーできない時間帯(早朝・夜間、土日祝日等)の未就学児や小学生の緊急・一時的な預かり保育の場として、平成28年3月、豊中・箕面キャンパス内に一時預かり保育室を整備しました。

<一時預かり保育室の概要>

【豊中地区一時預かり保育室「なかよし」】
【箕面地区一時預かり保育室「みらい」】

※ともに乳幼児室、幼児・小学生室の計2室設置

●利用可能時間：
7:00-21:00(土日祝日も利用可能、但し年末年始を除く)

●対象者：
本学常勤教職員・非常勤職員及び学生の子ども
(日本学術振興会特別研究員(PD, RPD)を含む)

●保育対象年齢：
生後57日目から小学校6年生まで



一時預かり保育室
「なかよし」(豊中)

妊娠・出産、育児支援：その他

臨時託児室設置支援事業

教職員

本学が開催に関与する、または本学で開催される学会、研修会、会議等で臨時託児室を設置する場合、その設置費用の一部または全部を補助します。

電動さく乳器レンタル

教職員

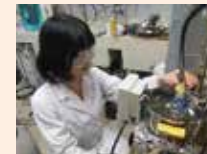
母乳で子どもを育てたい女性教職員のために、medela社製「Symphony(シンフォニー)」または「Swing(スイング)」を無料で貸出しています。※台数に限り有

研究支援：出産・育児・介護で 研究時間の確保が難しい研究者のために

研究支援員制度

教員

出産や育児、介護等の様々なライフイベントに直面している研究者に、大学院修了者や学生等を「支援研究者」(特任研究員)や「研究補助員」(技術補佐員・事務補佐員)として雇用・配置し、研究を支援しています。この制度は、研究者に対して、研究と育児・介護等との両立を支援するだけでなく、研究者の支援を通じて実際の研究現場に触れ、研究活動に携わることで、研究支援員が自らの将来のイメージを思い描く契機とすることも目的としています。



プラスONE(短期教育研究支援)制度

教員

短期的・集中的に支援が必要となった場合の学生等のアルバイト雇用経費を補助します。支援期間が上限2ヵ月(年度の補助上限額あり)ですが、出産・育児・介護による新たな申請事由が発生した場合は再度利用可能です。※研究支援員制度の利用期間中はこの支援を受けることはできません。

大阪大学公式
マスコットキャラクター
「ワニ博士」



妊婦健診・サポート外来予約支援

教職員

学内の女性教職員を対象に、医学部附属病院の産科婦人科での妊婦健診や外来診療の予約支援を実施しています。

おむつ替えシート・ベビーチェア設置

教職員 学生

学外からの利用者が多く、特に公共性の高いコンベンションセンター、大阪大学会館、中之島センターをはじめとする学内施設の多目的トイレや一般トイレに、おむつ替えシート、ベビーチェアの設置を進めています。